

公益社団法人調布青年会議所 2020年度

(仮称) MST2020拡大委員会 運営方針

副理事長予定者 林 慎一郎

委員長予定者 荒井 一宏

副委員長予定者 小曾根 佑亮

■委員会テーマ

無理を楽しさや遣り甲斐が上回るくらい真剣に、楽しみながら調布青年会議所に馴染んで貰う。

■委員長所信

時代は令和を迎え、2020年は調布青年会議所の創立から50年目の年でもあります。時代のせいにはしたくない、けれどもメンバーは減少傾向にあります。組織は人と人との成り立っています。人が減って行ってしまえば、存続して行く事は出来ません。だからこそ、会員拡大は調布青年会議所にとって急務であり、所属する現役メンバー全ての私ごとでもあるのです。

そして、入会はゴールではなくスタートです。専業あつての地域活動です。何事でも頑張る事と無理をする事は違います、無理は続きません。無理を楽しさや遣り甲斐が上回るくらい真剣に楽しむ！先ずはそれを会員拡大と共に新入会員へみんなから伝え、調布青年会議所に馴染んでもらい、年齢や職業、価値観の枠を越えて、誰もが継続して参加出来る環境を、委員会の枠を越えて全員で作って行く事こそが、今必要な拡大活動であると考えます。

現役メンバーの全員が一丸となり拡大の輪を広げ、価値観の違う人と人とが謙虚な姿勢で歩み寄る事が必要です。一つの理念の元に共存し、協調性を生み出す事の出来る機会のある組織であり、また、自己成長へ自然と繋がる事を感じられる、素晴らしい団体であると言う事が、一人でも多くの人に伝えられる様に会員拡大して行きたい。

当、委員会スタッフは先頭に立ち、調布青年会議所の看板を背負い、拡大活動をして行く事になります。共に候補者を発掘、声掛けすると言うだけに留まらず、仲間や先輩、市民が我々の生活態度までも見て、尚、当会を応援して頂ける様、日頃より品格を持って行動する事を心掛けて行きたいと思えます。先ず2020年の会員拡大目標を新規15名とし、達成出来てもそこで立ち止まりはしません。更なる目標を掲げられる様に、目標達成のその先を見据えながら、拡大運動を続けます。

そして新入会員の方には、調布青年会議所の行う事業、例会へ率先して参加して頂ける様、拡大スタッフが筆頭になり、背中を見て貰い、共に信頼関係を築き上げながら、先ずは継続して楽しんで貰える様に邁進して行きたいと思えます。

■担当事業など（予定）

●卒業例会・納会の開催 【12月第二例会 / 共益事業】

○5月第一・7・9・10・12月第一例会・5月事業の当日補佐

○その他事項 ・入会候補者の発掘・情報管理 ・入会候補者へのオリエンテーション ・新入会員のフォロー、Jaycee としての育成 ・理事会議事録作成支援

卒業例会・納会では、本年度に行ってきた事業の振り返りや、理事長から次年度への思いが引継がれる設えを心掛け、新入会員メンバーが一人でも多く参加して行う事で、現役としては短い期間でしか新入会員と関わる事の出来ない卒業生予定メンバーとの時間を、設えを通してより身近に感じると共に時間を共有して貰い、例会では心良く送り出し、拡大メンバーの活気で安心して卒業生メンバーが門出を迎えられる様にしたいと思います。

■最後に

・頑張る事と無理をする事は違う、だから、無理を楽ししさや遣り甲斐が上回る、その一瞬、一瞬を全員で伝えたい。それはずっと j a y c e e であり続けて欲しいから。

・年齢や職業、価値観も違う人と人とが、お互いに謙虚な姿勢で歩み寄る事が大切であり、それを伝えて行きたい。